日本共産党 神戸市会報告
北区南版
2016年春号

朝倉えつ子

日本共産党神戸市会議員

ごあいさつ

市議会へ送っていただき、私の任期が始まり、９ヶ月がたちました。建設局、交通局、水道局の所管審査をする企業建設委員会に所属し、この間、予算と決算の特別委員会では交通局で質疑しました。

昨年１０月の一般質問では、政務活動費問題で初めて市長に質問しました。全額返還されたとはいえ、真相はいまだ解明されないままです。引き続き究明を求め、議会改革に努めます。

質問で取り上げた「障がいを持つ子どもの相談窓口」については、２０１６年度予算案で体制の拡充がされることになり、神鉄のシーパスワンも神戸高速鉄道まで乗り入れ可能な「シーパスワン PLUS」が発売されます。

これからも、安心して住み続けられる神戸のまち、北区のために、みなさんとともにがんばります。

3.13重税反対集会

2016年度予算組み替え提案　企業誘致、開発優先の予算を

くらし応援と地域経済の活性化の予算に

２０１６年度神戸市予算案は総額１兆７７２１億円。都心の再生など三宮再開発に 23 億円、ウォーターフロント整備に７２億円、巨大港湾づくりに１０４億円、赤字の神戸空港に３２億円などが計上されています。地場産業や既存中小企業支援の拡充要求は見送られる一方で、誘致企業や大企業支援メニューは増えています。

しかもそのための財源は、敬老祝い金や配食サービスの廃止や小中学校や幼稚園の統廃合などでうみだされ、市民サービス切り捨ての影響は今後５年間で１００億円にものぼります。

民間委託は、調理業者の安全基準違反により中学校給食が北区を含め７区で中断したにもかかわらず、小学校給食調理にまで広げようとしています。

三宮一極集中・「成長産業」頼みではなく、市政の軸足をくらしと営業応援に移すために、日本共産党市会議員団は予算の組み替えを提案しました。

市民目線でムダを削ってくらし応援と地域活性化に ― 予算組み替え案の概要

主な中止・削減事業

神戸空港への支援	9.2億円
医療産業都市構想	40.5億円
誘致企業・新産業への減税補助	19.3億円
三宮再整備などの大型開発の中止	102.1億円
マイナンバー関連や議員費用弁償の廃止	16.4億円

削減 23事業 187億円

拡充 42事業 188億円

主な充実提案

子どもの医療費の中学卒業まで無料化	15.4億円
保育所保育料減免や在宅子育て支援など	8.8億円
35人学級やいじめ対策など教育の充実	11.8億円
敬老祝い金と高齢者配食サービスの維持	1.4億円
国民健康保険料1万円と介護保険料5千円引下げ	37.4億円
敬老パス・福祉パスの復活と神鉄など私鉄適用	11.5億円
私有地土砂災害対策助成と消防隊員の増員	2.7億円
住宅・店舗リフォーム助成	8.0億円
小事業者や商店・農林漁業者への直接支援	19.0億円
中学校・保育所・児童館・特養ホームなど生活密着の公共事業	67.1億円

一般会計のわずか2.5%の見直しで実現　財政改善　不要不急事業削減による借金の減額　26億円

予算特別委員会 交通局審査から

これまでも市バス路線や営業所、地下鉄駅務職員の民間委託など、人件費削減や赤字の市バス路線再編などをすすめてきた交通局は、「次期経営計画」で、さらなる合理化をすすめようとしています。

私は「これ以上の合理化は、交通職場で働く職員のさらなる任務過重となり、職員の健康が脅かされる中で、市民の足どころか安全など到底守られない。合理化はやめるべき。赤字路線に充てられる一般会計からの補助金増額で、市バス減便もやめるべき」と質しました。

当局は「このまま何も見直さなければ、経営健全化団体に転落してしまう」などとこたえました。

民間委託されている市バス運転士や地下鉄駅務職員についても、実態把握と処遇改善を求めました。さらに、「労働実態が事業者任せでつかめなくなるのが、委託事業の問題」だと追及し、「これ以上の委託拡大は、行政がワーキングプア拡大をすすめることになる。やめるべき」と質しました。

また、地下鉄西神山手線ホームドアについては全駅設置を求めました。

予算特別委員会交通局審査で質問